

東桂小だより

平成30年1月15日(月)発行 NO. 10 発行責任者 野木 忠一

学校教育具体目標

- ㊦進んで学ぶ子ども
 - ㊦思いやりのある子ども
 - ㊦健康でたくましい子ども
- *知・徳・体の調和!
*居心地のよい学校!

3学期がスタート

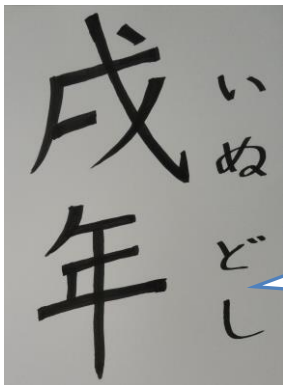


新年 明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

冬休みが終わり、3学期がスタートしました。1月11日に子どもたちは、それぞれの冬休みの思い出を胸に、新たな気持ちで元気に登校してきました。その子どもたちが安心して生き生きと活動できますように、教職員一丸となって教育活動に励んでいきたいと思ひます。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

3学期は、一番短い学期で、居心地のよい学校づくりでは、「まとめ」学期です。一日一日を大切に過ごしてほしいです。具体的には「まとめ」と「高め合い」に個人や学級で取組み、次の学年や中学校にしっかり繋いでいきたいと思ひます。また、課題についてはなるべく努力して克服できるように指導・支援していきたいと考えています。

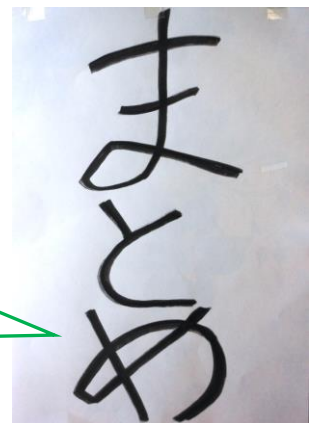
始業式「居心地のよい学校づくり・まとめの学期」校長の話抜粋



今年は戌年です。戌年は干支の中で11番目になります。昔から干支をもとにして、その一年の目標を決めたり占ったりしてきました。戌には、「勤勉で努力家」という意味があるようです。

東桂小学校の子どもたちが、努力して真面目に頑張つて、それぞれが自分の目標を達成できるようにしてほしいものです。

「まとめ」をするということは、今の学年の学習や生活をまとめて、自分や学級、学年の進歩や成長などを確認し、仕上げをすることです。この一年でできるようになったことは何か、伸びたことは何か、頑張ったことは何かを振り返り成長した自分を見つけることです。それは、誰にでもあります。自分で見つけられない人は、友だちや先生に確認して下さい。必ず見つけて下さい。



「高め合う」とは、自分だけでなく、友だちのよさも見つけてやって下さい。「字が上手になったね」「発言が増えたね」「掃除を真面目にやったね」「人に親切にできるね」など、みんなでお互いのよさや成長を喜び合つてほしいです。そのことにより、学級や学年の質が高まり、周りの人たちとの絆も深まっていきます。

あたりまえ5箇条

3学期に、特に取組むあたりまえ5箇条は次の4条です。

4条「気持ちよい言葉遣いをする！」

言葉遣いについては、年間を通して各学級や学年、児童会で取組んできています。

3学期は全校で取組んで、ふわふわ言葉（相手を気持ちよい気分させる言葉：ありがとう・すごいね・上手だね・さすが・素敵だね・頑張っているね・ドンマイ・頼りなるね・ファイト・たのもしいね・大丈夫など）で、この東桂小をいっぱいにしていきたいと思います。そして、その取組みの結果として、この東桂小学校が子どもたちにとって居心地のよい学校になることを期待します。

言葉遣いについては、我々教職員も気をつけなければいけないと考えます。ご家庭でもふわふわ言葉をたくさん使って、親子のコミュニケーションを深めてほしいと思います。ご協力よろしくお願ひします。

「言葉の大切さ！」

言葉というものは、大きな力を持っていると思います。

今の世の中、いたるところで言葉が交わされていますが、人から発せられた数々の言葉が人を幸せな気分させたり、逆に人を傷つけてしまったりもします。たくさんの方が言葉の大切さに気づき、温かい言葉がどんどん飛び交う世の中（地域）になっていくことを強く願ひます。

「今の子どもたちの言葉遣いはよくない。」ということをよく耳にします。しかし、よく考えてみますと、その子どもたちを教育している大人の言葉遣いも反省しなければならないことが多々あるのではないかと感じます。地域の子どもは地域で育てるという基本理念をもとにして、地域の子どもたちの言葉遣いを地域全体でよい方向に導いてほしいと思います。そして、言葉の効力を高め、地域全体で子どもたちの行動のよい点を褒め認め、この東桂地域を愛する心優しい子どもたちを育てていくことをお願ひしたいと思います。

～PTAからのお知らせ～

今年度一年間をかけて、PTA活動の内容・方法・役員数等について理事を中心に見直しをはかってきています。1月26日の理事会で決定し来年度のPTA総会を経て、新しい内容・方法・役員数等での活動がはじまります。

現在のPTA活動の内容・方法・役員数等は、本校が大規模校（児童数600名、各学年3・4クラス）の時のものです。今年度の児童数は367名で、規模でいうと中規模校になります。よって、大規模校の時のやり方では、「無理がきているし負担も大きくなっている。」という意見が多く寄せられました。そこで、PTA活動の目的を達成でき、少しでも負担をなくしていくやり方を工夫してみました。詳しいことは今後の理事会や学年部会総会等で説明させていただきます。

新しいやり方に見直されますと、役員数（100名→50名程度）も減り無理なくPTA活動を行なえるようになります。また、本来の目的である子どもたちの教育環境を整えたり、会員相互の資質を高め合ったりすることもできるのではないかと考えられます。